

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後リクリップ Creative&Craft

公表日 2025年3月15日

利用児童数 35名 回収数 割合86%

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	93%	3%	0%	3%	・部屋前もできていて良いと思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	93%	0%	0%	7%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構成された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87%	0%	0%	13%	・細かい所までは見たことがない。	・施設内はトイレ前と玄関前に小さな段差が一つづつあります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93%	3%	0%	3%	・優しい児童館に指導員がいて、子どもだけでなく親の私たちにも支援していただいている。	・引き続き、研修を重ね職員のスモールアップを図り特性にあった支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		・引き続き、支援プログラムに沿って支援を提供しています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93%	3%	0%	3%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		・去年に引き続き、コンセプトとなる工作是品展、少しずつ外活動にも力を入れています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	33%	13%	20%	33%		・地域と連携して、児童館との交流を検討しています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	40%	20%	17%	23%	・研修会があると嬉しい	・市役所からの研修会の情報を共有する仕組み作りをつくっています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	93%	3%	3%	0%		・引き続き、日頃からの保護者様との伝え合いを行っています。
保護者 への 説明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17%	20%	40%	23%	・あると良いと思っている	・状況をみていきつつ、今後の検討をしています。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	97%	0%	0%	3%		・今後も保護者様から意見やご要望があった際は、迅速に対応できるように努めます。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	83%	0%	0%	17%		・引き続き日々の様子をInstagramにてUPさせて頂いております。 ・今回の集計結果に關しても、保護者様に共有してまいります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	77%	7%	0%	17%		・引き続き、ご契約の際での丁寧な説明を行っています。 ・、SNSに載せている実施した際の様子を、より周知していただけるように都度共有してまいります。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67%	7%	0%	27%		・引き続き、実態と共に市役所への訓練実施結果の提出も行っています。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	87%	3%	0%	10%		・年3回、季節に合わせた感染予防の仕方、動中症対策等に関しての活動を取り入れています。
26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	83%	0%	0%	17%		・引き続き速やかな連絡と性格な状況説明を行っています。 ・外活動も揃えている為、事故の無いよう細心の注意を払っています。	
満足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	・字数はなかなか行けないが、デイサービスは安心する場所になっている。	・今後も「第二の我が家」として安心感を与えられるように努めます。
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	93%	7%	0%	0%	・先生たちのおかげで、有難い事に楽しみにしている。 ・仲良しの先生がいて毎回来しく過ごすし、次も会えることを待ちわびている	・いつもありがとうございます。今後も様々な活動を取入れながら、楽しく通所いただける様に努めます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	93%	7%	0%	0%	・ずっとお願いしたい。	・保護者様ともコミュニケーションを取りながら、より良い支援を提供できるように努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後リリークラブ Creative&Craft			公表日	2025/3/15
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	年齢層に合わせ、二部屋に分かれている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	施設内は出来るだけ段差がない作りになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	児童の最近の様子に合わせて、少しずつレイアウトを変えている。変化が苦手な児童には事前に伝えておくなどの配慮も出来ている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	気分が落ち込んでしまい、静かな場所で落ち着きたい時などの状況で別室に移動している為、臨機応変に動ける環境になっていると思う	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	目標や改善点を話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年に一度行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	月一回のミーティングでの機会や、都度のコミュニケーションからそれぞれの意見を取り入れ、改善している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83%	17%	月一回のミーティングの中で研修を行っている。社内外の研修を行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	季節や児童に合わせてプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	出来る限り偏りのないように、毎月工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	打合せとしてしっかりと取り組むものは毎日しているとは言えないが、気付きや改善については支援終了後の業務日誌や業務連絡を通して都度共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%		引き続き従業員に周知徹底していき、理解を深めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	83%	17%		引き続き従業員に周知徹底していき、理解を深めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%		今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		今後検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	17%		今後検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%		今後検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	設立されている委員会を主に、研修を行っている。 訓練の内容や様子をInstagramにて発信している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	設立されている委員会を主に、研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	保護者との連携を取り、行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%		引き続き従業員に周知徹底していき、理解を深めていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット事例が起きた際には、しっかりと会議にて全体共有、再発防止の為に話し合いをしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	設立されている委員会を主に、研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後リリークラブ Creative&Craft		
○保護者評価実施期間	令和6年12月13日		～ 令和7年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和6年12月12日		～ 令和6年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所のコンセプトに合った空間になっている。	・工作のコンセプトに合わせたウッド調の室内になっている。 ・コンセプトに合わせた壁紙を使用した室内になっている。 ・長期休暇中などの時間を使い、継続的な作品作りの目標を掲げている。	・会議で児童と学年に合わせたレイアウトになっているか話し合って適切な環境を提供していく。 ・今後も児童の興味関心に合わせた工作を取り入れていく為、普段からのコミュニケーションを大切にする。
2	・日々、保護者の方との情報共有を行っている。	・保護者の方にも安心して通ってもらう為、送迎の際に本日の出来事や気になる事などを伝えている。 ・将来についての目標や目的を共有するように心掛けている。	・さらに職員間で情報共有を欠かさず、どの職員でも気軽に話せる相手となれるように心掛けていく。
3	・児童に安心する場所を提供できている。	・工作活動を通して、児童のチャレンジ精神や成功体験を大切にしている。 ・周りを気にせず心を落ち着けられるように、別室に移動するなど児童の心情を汲み取り支援を行っている。	・日頃から児童の些細な体調や心情の変化に気を配って接していく。 ・職員の研修によるスキルアップを行い、適切な支援や声かけが出来るようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童館や外部との交流がない。	・事業所のコンセプトにより、内部での活動が多かった為。	・現在、長期休みや祝日の活動にて外出活動を増やしており、従業員の経験を積んでいる。
2	・非常時の対応、避難訓練等の様子が不透明になっている。	・Instagramにて発信しているが、ご家庭への共有が出来ていない。 ・Instagramに気付いたご家庭のみが把握している状況となっている。	・避難訓練等の様子を発信した際に、全ご家庭に共有をしていく。
3	・ご家庭向けの研修会の共有が出来ていない。	・児童発達管理責任者とのモニタリングなどで相談事が解決しているケースが多かった為。 ・ご要望がなかった為。	・市役所のホームページに掲載されている研修会の共有を行う仕組みを作っていく。